

第53回評価監視委員会の開催について

第53回 一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

開催日時	平成29年10月26日(木)15:00～17:00	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 (五十音順)	大山 修(株式会社 Tomorrow's Business Creation 代表取締役) 白戸 智(株式会社 三菱総合研究所 地域創生事業本部 地域産業戦略グループ 主席研究員) 寺川 祐一(委員長(医療用医薬品製造販売業公正取引協議会 専務理事)) 真島 審一(元 会計検査院 第5局長) 宮本 和明(東京都市大学 都市生活学部 都市生活学科 教授)	
	大阪事務所 日下 知之、本田 上史 共通資材調査部 大谷 忠広、川野辺 豊、康広 誠己 第二土木調査部 池原 一彦、足利 全教、島野 誠司、田中 秀一 調査統括部 鈴木 昌樹、古井戸 宏 監査審査室 後藤 裕、葦浦 正己	
審議案件	案 件	備 考
	委員長選出	評価監視委員会規則に従い、委員の互選により寺川委員が委員長に選出された。また、委員長の指名により白戸委員が委員長代理に選出された。
	(定期調査) レディーミクストコンクリート 大阪価格	「建設物価」平成29年9月号98頁掲載価格について、調査結果記録票、調査結果集計表等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明。
(受託調査) 流量調整弁 (くし歯弁体形ゴムシートバタフライ弁) 徳島県阿南市	受託調査について、調査票、調査報告書等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明。	
委員からの主な意見・質問、それに対する調査会からの回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘(不適切な点又は改善すべき点)	なし	

意見・質問	説明・回答
<p>1. 定期調査について レディーミクストコンクリート (大阪価格)</p> <p>○ 調査先からの回答にバラつきがないのはなぜか。</p> <p>○ 通常、大量発注の場合は割引があるが、レディーミクストコンクリートも大量発注の場合は割引があるのか。</p> <p>○ 8月号以前は、近隣の京都、奈良、和歌山地区が大阪よりも価格が高い、その背景には何かあるのか。</p> <p>○ 今回の値上げでは、平成29年4月1日以降の新規契約分について新価格が適用されたとのことだが、掲載価格は8月号まで13,800円/m³で9月号から15,800円/m³になった背景は何か。8月からゼネコンが一斉に値上げを受け入れたのか。</p> <p>○ 調査を担当する部所によって調査方法が違っていると、精度的に価格がバラついたりすることはないのか。</p> <p>○ 今回の値上げに原材料の価格動向の影響はあったのか。</p> <p>○ 販売店が受注したものは、協組が納入メーカーを差配するのか、それとも販売店がメーカーに直接依頼するのか。</p> <p>○ 平成29年6月末の時点ではまだ値上げは出来ていなかったのか。</p> <p>○ 実際は、8月号調査で値上げの動きが出ていたのか。</p> <p>○ セメントメーカーを調査対象にしているのはなぜか。</p> <p>○ 員外社の価格は把握していないのか。</p>	<p>○ 今回は、調査対象者を増やし、需要家等に対しても調査を行い、全ての調査先から値上げの浸透が確認されたことによる。</p> <p>○ ケースによってはあり得るが、今回は一般的な取引数量を超えるものについても割引せずに契約されている。</p> <p>○ 各地区の協同組合（以下、協組という）はそれぞれ結束が固く、独自の市況を形成している。</p> <p>○ 協組は今回の値上げに際し、平成29年3月までに注文し、かつ6月末までに本格打設した案件については旧価格を適用すると表明していた。このため、旧価格での駆け込み注文が急増し、7月前半までは新価格での契約がほとんど見られなかった。その後、8月10日までの調査において15,800円/m³での契約が確認された。</p> <p>○ 調査基準を定めて調査方法を統一しているため、調査結果に差は出ない。</p> <p>○ 長い目で見ると、数年前からの骨材価格や人件費等の上昇が影響している。</p> <p>○ 協組は組合員のシェア割りをしているため、協組が割り振りをしている。</p> <p>○ 8月号調査の時点では、旧価格と新価格が混在し旧価格が多かった。</p> <p>○ 各社の調査結果は旧価格の13,800円/m³ではあったが、これは各社の代表的な取引価格を聞いていたためであり、一部では新価格の15,800円/m³も聞かれていた。</p> <p>○ 取引当事者以外の市場関係者からも重要な情報を得られるためである。</p> <p>○ 調査依頼は行っているが、協力を得られていない。しかし、員外社のシェアは非常に小さいため、調査結果への影響はない。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>2. 受託調査について 流量調整弁（くし歯弁体形ゴムシートパタフライ弁） （徳島県阿南市）</p> <p>○ 発注者が調査依頼してきた理由は何か。</p> <p>○ 発注者は、発注する時の予定価格を算定するために依頼してきたのか。</p> <p>○ メーカーによって製作しているものに違いがあると思うが、性能に差はないのか。</p> <p>○ 調査を行っている過程で類似製品があることに気付いたのか。</p> <p>○ 見積りを徴収後、内容についてヒアリングを行い、実勢価格等を確認するとあるが、実際にいくらぐらいになるのかと聞いているのか。</p> <p>○ 定期調査のレディーミクストコンクリートとは異なり、価格の決定方法を最頻値ではなく、総合的な判断で決定したのはなぜか。</p> <p>○ 製品の性格からすると、標準品だと思っよいのか。</p> <p>○ 本体そのものは標準品ということか。</p> <p>○ 発注者から数量について提示はあったのか。</p> <p>○ 流量調整弁1台の調査の割には手間がかかっているのはなぜか。</p>	<p>○ 「建設物価」にもパタフライ弁の掲載はあるが、今回は弁体が低キャビテーション形で掲載にないからである。</p> <p>○ 発注者がこの報告価格をどう使うかは判らないが、恐らくそのためだと思われる。</p> <p>○ ある程度は違いがあると思うが、一般的には同等品として捉えている。</p> <p>○ くし歯弁体形という名称で依頼があれば、他社でも類似した製品を作っているのは把握しているため、同等品として調査対象にしている。</p> <p>○ 見積りどおりの価格で販売しているとは限らないため、実際はいくらぐらいで販売しているのかを聞いている。</p> <p>○ 特殊性の高い資材ではサンプル数が少なく、最頻値で決定することができないため、市況動向やシェアなどを加味して総合的な判断によって決めている。</p> <p>○ 本体は標準品だが、付属品が付いている。</p> <p>○ 在庫品ではないが、標準品である。</p> <p>○ 今回は1台という提示がされている。</p> <p>○ 弁のなかでも比較的高額な製品だったためである。</p>
<p>3. 次回開催日について</p> <p>○ 次回評価監視委員会は、平成30年2月中旬～下旬に開催予定。</p>	